

★森のおはなし探検隊★

『木の実を使ったおひな様』

手作りのおひなさまで

お雛祭りのお祝いしませんか！

開催日時：2月9日(日) 13:00～14:00ごろまで

集合場所：子どもホール 2階

参加費：無料(別途要入園料)・事前申込不要



☆スポットガイド「もっと大好きバードケージ」

南ゲートを入るとすぐに広がる「姿見の池」の奥に、高さが10mを超える巨大なバードケージがあります。ここでは、檻の中に入って鳥たちの暮らしを間近で見ることができます。

フラミンゴにショウジョウトキ、カルガモなど…どんな鳥がどこにいるのかを見つけるのも、ここでの楽しみの一つです。

今回のイベントでは、飼育スタッフがバードケージで暮らす鳥たちのお話をしてくれます。色々な話を聞いたら、もっともっと、鳥たちの観察が大好きになると思いますよ！

日時：2月の土日・祝日

13:00～13:45頃まで

場所：南ゲート近く「バードケージ」内



天候などの都合により変更・中止することがあります。どうぞご了承下さい。
詳しくは、HP もしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問合わせ下さい。

森の仲間たち



「到津の森公園」公園事務所
北九州市小倉北区上到津 4-1-8
Tel 093-651-1895 〒803-0845
<http://www.itozu-zoo.jp/>

森のお便り 2月号 2014年

発行・編集 「到津の森公園」「森の仲間たち」14年2月1日発行 通巻132号

到津の森公園イベント情報

☆土日祝の定例イベント「からだのふしぎ」

「からだのふしぎ」という題目で開催！

人や動物の色々な部分を比べながら、スタッフが解説してくれます。

スタッフの解説は、週ごとに内容が変わります。どうぞお楽しみに！

ぜ～んぶのお話を聞いたあなたは、動物の物知り博士になれるかも…？

日時：2・3月の土日・祝日

14:30～14:45頃まで

場所：「林床の世界」ソウ運動場前



☆ライオンのバリバリタイム

普段は、なかなか見られないライオンのお食事風景。スタッフから、ライオンについての説明を聞きながら骨にかぶりつく姿を間近で見ることができるイベントです。

ガラス1枚を隔てて、バリバリと骨にかぶりつくその顔は迫力満点！

「百獣の王」と呼ばれる野生の姿をかいま見ることができます。

骨があつという間になくなってしまいかもしれませんので、早めに来てくださいね！

日時：2・3月の土日・祝日

11:30～11:45頃まで

場所：「草原の世界」ライオンガラスビュー前



花暦 如月

暦の上では立春。でもまだまだ寒さの本番はこれから...
というのが実感の二月。

でも窓の外の明るさは春と思える日和。お気に入りのマフラーを巻いて、冬の植物散歩に出かけてみました。寒気がピタッと頬にはり付きます。園内の人影はさすがに少なく、若いお母さんと子供達のが連れ立って、美しい冬毛のトラのミライちゃん・冬に強いパパライオンのキングのほえる声などを楽しんでいる姿は、心弾むものです。

南ゲートの手入れの行き届いたアプローチをゆくと、ホトケノザの大株に花が付いています。雑草の中の雑草とも呼ぶべき野草ですが、惚れ惚れする程立派に育って、枯草達を圧倒する姿はお見事。茎の上部では丸い葉が二枚ずつ、茎をだくように付き、最上部は固まって付いています。その葉の付け根から複数の、筒の先が唇形に開いた花が立ち上がって綺麗。四月から六月にかけて開花するとされていますが、十分よく育っています。

ホトケノザの草叢の中、ホッホッと星の瞳と呼ばれる青い花のオオイヌノフグリが日光に笑顔を向けています。

両者は共に外来種ながらすっかり日本に溶け込んで、本来のホトケノザ(コオニタビラコ)から名前を奪い、在来 of イヌノフグリからは居場所を奪って、ほとんど絶滅に追い込んだ逞しい奴らでもあるのです。

さて、園内バードゲージに入ってゆくと、ホトケノザに似たヒメオドリコソウがびっしり、紅紫の花も小さいながらツンツン見え隠れ。今はまだ15cm丈の野草で、下部の柄のある葉は対性、上部の葉は紅紫色に染まって柄はなく、ひと塊に見えるようにつき、その間からやはり紅紫色の花が付きでています。

このヨーロッパからやって来た外来種のヒメオドリコソウから狙われたオドリコソウは、園内でも市内でも激減し、ちゃっかりヒメオドリコソウの群落と化しているのです。寒さの中のわずかな散歩でも、生物達の厳しい陣取合戦を見る事ができます。

木々の芽もふくらみ、梅の花はほころび、桜の花芽が赤色を帯び、たしかに春はそこまで来ているようです。

文：花咲くおばさん

森のなかま・モルモット

モルモットの赤ちゃん、ぞくぞくデビュー

いとうづの森公園のモルモットは、みんなに見てもらおう仕事のほかに、大事なお仕事があります。そう、みなさまの知ってのとおり、タッチタイムでおひざに抱っこして触れてもらうお仕事です。このお仕事、簡単そうに見えるかもしれませんが、実は、デビューまでに道のりがあります。

モルモットがお母さんからお乳をもらう期間は3週間程度で、この期間を過ぎたころから、私たち人間との距離を縮めてもらうため、馴致が行われます。モルモットの馴致は、タッチタイムと同様に膝の上において、背中をやさしく触ることです。びっくりさせたり、強く押ししたりしてはいけません。なぜなら、モルモットにとってみれば、人間はとても大きくて恐ろしいものに違いありません。人間って怖くないよ、膝の上は安心できる場所だよ、と分かってもらえるよう、本当にやさしく接します。実は、その大事な仕事の大半を担ってくれているのは、ボランティアさんです。「このモルモットは膝の上でとてもおとなしいですね。」とお客様に言っていただけでもよくあります。そんなとき、上記のようなことを説明したりしています。こんなところでも縁の下の力持ち、ボランティアさんの存在をちょっとでも知っていただければと思います。

12月に生まれたモルモットが、現在、馴致中です。まもなく、タッチデビューします。

ぜひ、タッチタイムでチビモルちゃんを膝に抱っこしに来てください。



飼育展示係 古川 美沙紀